

ぴよぴよ



2022年 6月
たかがみねこども園
北区鷹峯土天井町53
TEL: 491-3300

6月の予定

☆園庭で遊ぼう♪

(6/2・木、14・火)

AM10:00~11:30 場所：園庭

園庭でのびのび遊びましょう！車のおもちゃやローラーすべり台、ウッドデッキがあります。ウッドデッキには、お家があり、おままごとをして遊ぶことが子どもたちに大人気です♪

- ※ 10名限定で、事前予約が必要です。雨天の場合は中止となります。
- ※ 暑くなってきたので、お茶などお持ちください。

《新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来園の際のお願い》

園へお越しの際には、

- 保護者の方はマスクを着用してください。(熱中症の危険もあるため、お子さまはマスクを着用していただくなくて結構です)
- 事前に検温をしてください。(保護者・お子さま)
- 発熱(37.5度以上)や風邪の症状(咳・鼻水・下痢など)がある場合、また、発熱等の症状が改善してから24時間経っていない場合は、利用をご遠慮ください。

※ 新型コロナウイルス感染症の状況によって、中止になる場合がありますので、園へご確認ください。

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

～おすすめ絵本～

『かさちゃんです。』

作・絵：とよた かずひこ

発行：童心社

ざーざー雨の中、くるりんとんと、かさちゃんが出てきて、ぱっと開きました。ほかの色とりどりのかさたちもやってきて、ぴちゃぴちゃとんとん、ぴちゃとんとん、かさちゃんぞろぞろ…。

きれいな色とりズミカルな言葉。雨の日が楽しみになる絵本です。





心も体も満たされる心地よいことば

現代は、日常的にたくさんの機械音があり、人のことばを「聞く力」が育みにくい環境にあるといわれています。例えば、「ごはんにしましょうね」「とりさんが鳴いてるね」といった語りかけが、つけっぱなしのテレビ音に混じって聞こえてきたり…。子どものことばの発達において大切にすることは「聞く力」です。それは、子どもだけでなく、大人が子どもの思いを「聞く力」も含まれます。生まれたばかりの赤ちゃんは、視力よりも聴力が発達しており、全身を耳にして音を聞いています。授乳でお腹が満たされたときに「たくさん飲めたね」とやさしく響く声に心地よさを感じたり、不安になって泣いたときに「どうしたの？」と抱き上げられることで安心したりします。そうした繰り返しがいつもそばにいる両親の声を覚え、語りかけられると喜びに満たされるようになります。ことばは、一方的に語りかけるのではなく、心を通い合わせる事が大切です。まだことばで話せない時期の子どもであれば、表情やしぐさで大人がその心の声を聞いて理解してあげましょう。

【この時期に大切にしたいことば】

0歳児：大好きな人の声を聞いて、安心感や心地よさを感じる事が大切な時期です。泣いたときに必ず反応してもらえることで、自分が大切にされていると感じ、相手に信頼感をもつようになります。泣いたときには、「どうしたの？」と目を合わせて語りかけ、オムツ交換のときには、「オムツが濡れて気持ち悪いね、新しいのに替えようね」などと、ことばをかけながら行いましょう。

1歳児：自我が芽生え、ことばではまだ表せないですが、自己主張をするようになります。また、人との関わりを求めて、指差しをしたり一語文で思いを伝え始めたりします。子どもが何を伝えたがっているのか、表情や動作から読み取り、「お腹がすいたからごはん食べようね」「犬がいるね」と、子どもが何を言いたいのかを推測して大人が文章化することが、ことばの発達を促すこととなります。

2歳児：感情や動作を表す語彙もますます増え、1歳の終わりごろから二語文を話すようになります。記憶力や想像力もさらに発達し、過去の経験やイメージしたことを誰かと共有したがりです。伝わるうれしさを感じると、話す意欲も増していきます。



☆8か月ごろに「どうぞ」「ちょうだい」のやりとりあそびをしてみましょう。

おもちゃなどを「どうぞ」と手渡し、「ちょうだい」と受け取るやりとりあそびでは、動作とことばがつながるようにしましょう。受け取る際に、「ありがとう」と笑顔で喜ぶと、子どもはあそびが楽しくなります。

☆2歳ごろに「いやいや」「だめ！」の葛藤があります。

自分が決めたい、思いを通したいという気持ちから大人の働きかけを拒み、否定のことばを発するようになります。それは自立したいという表れ。大人は、「もっと遊びたかったんだね」などと、子どもの気持ちを受け止めたことばを言い、子どもの意志を尊重するようにしましょう。